

中部E S D拠点運営委員会（第6回）議事メモ

日 時 平成20年5月22日（木）18時00分～20時00分

場 所 中部大学名古屋キャンパス（810号室）

出席者 竹内委員長、寺井、長谷川、高山、村瀬（天野の代理）の各委員

事務局 古澤、岡本

議 事

1. エヴァリュエーションレポートについて

事務局から、各項目の担当になっている協議会会員が記述した原稿を編集した、エヴァリュエーションレポートのたたき台を作成した旨の報告があり、そのたたき台を基に、レポートの最終稿に向けて種々意見交換が行われた。また、分担書類で回収できていない箇所もあるため、最終稿の提出は、5月末を目途に行うことを確認した。

2. 「地域に根ざした脱温暖化・環境共生社会」研究募集について

竹内委員長から、「「地域に根ざした脱温暖化・環境共生社会」研究企画案」（附随資料「名古屋2050年マイナス60%ロードマップ試案」（名古屋大学竹内研究室））が提案され、続いて、研究企画案に関し、募集要項の「IV. 研究開発プロジェクト提案書の記入要領」（募集要項P15～P29）を基に種々意見交換、確認を行い、以下のように措置することとした。

- ① I. 研究開発の計画（A4・5枚）は竹内委員長が記述する。また、研究体制として、グループは6つに分ける。
- ② 各グループの研究内容とグループリーダーは、以下のようにする。
 - 脱温暖化・環境共生社会の形成に向けた流域圏の市民・企業などのモチベーションを高め、具体的行動を促すための手法の開発（仮題）… 市民推進会議、（羽後氏など）
 - 流域圏に賦存する地域資源の潜在的利用可能性の把握及びそれらの活用方策に関する研究 … 竹内研所属の方
 - 電気製品・自動車などの買換えの際には最も効率の良いものを買うように導く手法の開発（仮題） … 長谷川
 - 自動車利用などに伴う二酸化炭素排出量を相殺する手法（カーボン・オフセット）の開発（仮題） … 竹内
 - 学校・職場などの食堂でのフード・マイレージの表示に関する研究（仮題）… 寺井
 - 干潟再生による下水処理能力向上に関する研究（仮題） … 高山
- ③ 各グループリーダーが記述した内容を事務局が編集し、編集された最終稿を竹内委員長が応募することとする。6月8日（日）までの応募をめざすこととする。

3. その他

1) 事務局から、ロゴマーク作成に関する予算確保の可能性や、スペインのRCEバルセロナと中部ESD拠点とのコラボレーションの可能性についての報告がなされた。

2) 次回運営委員会の開催について

次回運営委員会を、「地域の根ざした脱温暖化・環境共生社会」研究募集の研究内容についての議論を中心に、5月29日（木）18時30分から、中部大学名古屋キャンパスで開催することとした。

以上